



# なごみだより NO16 2015年 7月号

## 社会福祉法人なごみ福祉会

川崎市多摩区稲田堤3-9-2

☎044-944-2022 Fax 044-945-2570

<http://www.nagomi-hukushikai.jp/>

### 理事長交代について

2015年3月28日の理事会で、理事長を小西弘昭から、栗田怜子に、2015年4月1日から交代することを全会一致で決定しました。

小西弘昭は、当法人設立当初から理事長を務め、法人の基礎づくりと発展に努力してまいりましたが、数年前から体調を崩し、理事長としての職務を務めることが困難な状況が続いてきました。このたび、本人から辞意が示され、検討の結果、法人設立当初から理事として活躍され、なごみ保育園長を長年務め、現在は5か所に増えた保育園の統括園長を務めている、栗田怜子に新理事長を引き受けてもらうことになりました。

小西弘昭は、法人相談役として、長年の経験を活かして力を貸してもらうことになりました。

小西前理事長の長年の活動に感謝し、栗田新理事長の活躍を期待し、報告とします。

2015年4月

理事、役員一同

### 挨拶

### 新理事長

### 栗田怜子



私は「保育園」大好きです。子どもたちの笑い声や泣き声や歌声、汗びっしょりで夢中に遊ぶ姿、それにおしりのかわいい事。

そして、やさしく時にきびしく頼りになる先生たちの声、給食室からただようお昼ごはんのおいしそうな匂い。保育園は、保育士・看護師・栄養士各々がプロフェッショナルな良い仕事をし、地域とつながり、ご家庭と連携し、子どもたちの生命と発達を見守ります。笑顔があふれる保育園は、平和の象徴だと思います。

一、なごみ福祉会との出会い

なごみ福祉会は、1981年に設立されました。そのころにボランティアとして参加したのが私のなごみ園との出会いになります。忘れられない思い

出があります。あるお母さんが、私の両手に赤ちゃんを託し「大丈夫、何かあったとしても驚かない覚悟をもって貴女にこの子を渡すから遊んでやってね。」とおっしゃったことです。信頼して頂いた事への感謝と受け取った責任の重さと、恐ろしくて手が震えた力のない私自身を自覚した事は忘れられません。その時感じた暖かいパワーも忘れられません。

一、これからのこと

社会福祉法人の変革が進む今、私たちは何を守り何をめざしてゆくのか具体的な行動の指針が必要となります。評議員会、理事会、花笑みの会、職員、地域のみな様と力を合わせて法人理念の実現にむけて一步一步進んでまいりましょう。

#### 栗田新理事長略歴

出身地 宮城県古川市（現大崎市）

生年月日 昭和22年12月

学歴 中央大学文学部哲学科社会学科

職歴 なごみ保育園で、長嶋和代理理事の後任として園長務め30年になります。現在、なごみ福祉会保育事業部長、統括園長



長いようでもあり、あっという間であったという常套句が浮かびましたが、実は法人の前史ともいべき無認可の8年間がありました。

光は見えないのですが、活動だけは地道に真摯につづけていました。障害児を持つ保護者とともに歩んできた理解者の希いが1981年にかないました。爾来、手探りながらも「共に育ちあう」という理念を規範として運営に当たってきました。

そのあかしとしての評価がみとめられました。当時の監事は、川崎市および神奈川県でしたが、ある年厚生省（当時）の監査をうけることになり

ました。緊張いっぱいの私と栗田園長は半日対応に追われました。

特に指摘はなかったばかりか、当の厚生省担当官から後日「園児の幸せのため無私の姿勢を貫いて運営にあたっていることに感動した」との書信を受け取りました。

これまでの私たちの歩んできた方向にあやまりがなく行政の評価を得たことに少なからず安堵したことでした。

評価の第二として、ほどなくゆるぎない保育園運営に対し、昭和天皇よりの恩賜金が下賜されたことです。これは、行政経由した推薦の結果とはいえ、他に例をみないことではないでしょうか！

これからも、新理事長のもと、この初心を忘れることなく福祉の現場でご活躍されるであろうことを信ずるものです。

#### なごみ福祉会の土台作りと小西さん

副理事長 市村護郎

「床がゆがんでボールがコロコロ転がる木造の小屋で、障害児保育で頑張っている人たちがいる」と話を聞いて、市議員になったばかりの私は「なごみでんでん虫の家」をお尋ねしました。その頃は、憲法で保障されていた「教育権」は障害児には、「就学猶予免除」一学校に行くことを免除する通達が、堂々とまかり通っていました。そんな中で、小西さん夫妻らの、障害児保育に懸命に取り組んでいる姿を拝見して、これこそ「教育の原点」であることを知りとても感動して、以来今日まで、一緒にお手伝いをさせていただいています。

当初は、場所や担い手の確保など、小西さんと一緒に苦労しました。新宿の高層ビルの谷間の飲み屋で、小西さん、池田さんと半ばやけになって話合いをしたのも今でも覚えています。

当時の伊藤三郎市長に、「おんぼろ小屋を見てほしい・・・」と話したら、早速立ち寄って、菅の職員保養所の土地を提供するから認可保育園をつくらないかと、ほんとうにありがたい話があり、現在の「なごみ保育園」が誕生しました。なごみ福祉会のスタートでした。

やはり市の土地を提供してもらい障害者通所授産所「多摩川あゆ工房」が誕生しました。今日のなごみ法人の発展の土台作りに大きく献身されたのか小西さんです。長い間ご苦労様でした。

#### 小西さんご苦労様 理事 長島和代

小西さんに初めてお目にかかったのは、昭和53年の春3月でした。現ここからの施設長北川さんの声掛けで、小西さん、市村さん、池田さん、北川さん、長島の5人が生田の地で初めて出会いました。

3年後のなごみ福祉会の設立と同時に小西さんは理事長として、自分の利害を全く離れ、ただ「なごみ」のために、なごみの職員に寄り添い、なごみ福祉会を支えてきてくださいました。そして、なごみ福祉会も現在あるような、多くの仕事をするようになりました。

これからの仕事がいつも順風満帆であるはずありません。人の命・人生を預かりながらのこの仕事の重さの中で、問題を解決しながら前に進むともがいている現場の職員たちを理事長としてしっかり支えてくださり、ここまでなごみ福祉会を引っ張ってくださいました。（ご自分の会社でのお仕事もあれほどハードでいらしたのに・・・）小西理事長は現場に余計な口を挟まず、困った時だけ助けて下さると言う理想的な理事長でした。だからこそ皆が自分らしく伸び伸びと仕事ができ、社会を変えていく、地域を作っていくような貴重な仕事が出来たと思います。「37年の有難うございます。」をこの狭い紙面では言い尽くせません。あふれるような感謝をこめて、本当に有難うございました。そしてこれからも相談役としてよろしく願いいたします。奥様のご助力にも、併せて感謝。御礼申し上げます。



## 療育相談でんでん虫・子ども相談室でんでん虫の活動と成果

先日の決算理事会で、坂本先生より『でんでん虫の活動を監査して、なごみ福祉会の原点を見る思いがした。ほんとうによく頑張っていますね。』とお褒めの評価を頂き、大変嬉しく思いました。

『親と子の寺子屋でんでん虫の家』が出来て34年目。『療育相談でんでん虫』がなごみ福祉会の“公益事業”として位置づけられて10年目になります。

『療育相談でんでん虫』が取り組んでいる外来での個別療育（音楽療法・言語療法・学習支援等）小グループ療法、1歳6か月の親子向け子育てセミナー、幼児期の親子療育等のプログラムは、『子ども相談室でんでん虫』の相談から繋がる具体的なプログラムとしても、とても必要な活動となっています。また、子育て支援センターページブルを会場に行っている『あみんこサイエンスクラブ』は、発達にでこぼこのある子どもたちの学校生活を支える一つの居場所と経験の場として広がりつつあります。

また、学校（小・中・特別支援）への支援は30校を超え、ますますニーズが高まっています。

更に、宮前区の自立支援協議会児童専門委員会の方々と協力して進めている講演会・情報紙づくりや、特別支援学校、特別支援教育研究会との関わりは、『教育と福祉の連携』を進める上で、大きな役割を果たしています。

このような多岐にわたる活動を進めるため、職員一人ひとりが前向きに学び、対応する力をつけると共に、チーム力を大切にして課題に取り組んでいきます。

特別の公的補助がなく、なごみ福祉会の公益事業である『療育相談でんでん虫』の大きな課題でした『財政の確立』に関しましても、年々学校支援に対する費用のご援助が増え、改善してきています。今年度は、市教育委員会ご指導の下、各校長先生に『財政支援の要請』をお願いをすることにしています。

スタッフの待遇改善を図り、安心して療育活動に専念できるようにしたいと考えています。

## 【平成26年度実績】

## ◆法人内他事業部との連携（音楽活動・職員研修）

多摩川あゆ工房 集団	45回
個別（3名）	124回
夢花工房 集団	48回
デイリー	8回
パーカッション	26回
保育園 なごみ保育園	43回
さぎ沼なごみ保育園	39回
太子堂なごみ保育園	38回
分園うめがおか	37回
北烏山なごみ保育園	39回
児童デイサービスドリーム	95回
東百合丘タイムケア	4回
ここから（児童発達、放課後デイサービス）	15回

## ◆学校・施設支援（音楽療法・職員研修等）

福祉施設	15か所	105回
学校	37校	186回
その他	6ヶ所	17回

## ◆外来療育

外来療育	107名	延べ2200人
健康体操	20名	325人
YY	10名	193人
太鼓クラブ	15名	165人
あみんこサイエンス		136人
コミュニケーション体操		71人
子育てセミナー		111人

## ◆その他行事・交流プログラム

でんでん虫クリスマス会、ポプラ音楽会、チャリティーコンサート

# 療育相談・でんでん虫・スタッフとの懇談



◆写真左から 吉野紀子、小田嶋幸子、林谷嘉子、渡邊紀子、木下さつき、小林千鶴、栗原敦子

(渡邊) こんばんは。今日は市村副理事長にいらしていただき、でんでん虫スタッフとの懇談の席を設けました。スタッフの皆さんには、でんでん虫で経験してきたこと、普段感じていること、でんでん虫への思い等、自由に話していただこうと思います。よろしくお願いします。

(吉野) 利用者の反応に、日々ご褒美をもらっています。今日もちょっと不調な様子で来所したA

さん。『この曲が唄いたい』ということ伝えたいAさんの気持ちを、スタッフが上手にキャッチして応えることが出来た時、Aさんの思いが実現し、気分が晴れ、すっきりと帰っていく姿を見ると本当にやりがいを感じます。

(小林) 私はこの4月にでんでん虫に就職しました。自分が準備したプログラムで、身体全体でリズムをとって笑顔になる利用者さんたちの満たされた心地よい様子を見ると、とても嬉しくなります。音楽療法だけでなく生活相談などの広い分野で支援できることにも意義を感じています。

(林谷) 学校支援が年々増え、先生方との交流が多くなっています。でんでん虫の学校支援は、先生方との関係が濃密で、お互いが対等な視点で話し合い、生徒さんへの思いも共有していることがスゴイ・・・

(小田嶋) 親御さんから「この子、先生の顔を見ると元気になるんです。」と声をかけて頂いたり、療育が終わって部屋から出てきたときのお子さんの表情を見て、信頼して下さっているという事がとても嬉しい。保育園では、保育士さんとの打ち合わせと反省会をくり返し行うことで、子どもの成長と一緒に見守る事が出来ます。

(木下) 療育というと、親御さんは『何かが出来るようになる』ということを期待すると思います。それも大切なことですが、でんでん虫に来た時の子どもの表情を見て「楽しかった!」「うれしかった!」という子どもの気持ちを受け止め、『出来る出来ないを問うのではない』という親御さんの心境の変化、お子さんへの視点の変化があると思います。これが良好な親子関係にととてもとても大切だと思えます。

(渡邊) 文字の読み書きや計算が出来るようになることも生活を便利にすることですが、療育を通じて『たくさん楽しい経験や達成感を重ねる』ことで、気持ちを共有する仲間が出来、人生が豊かになる・・・小さくても着実に経験を重ねることで、本人だけでなく周りも変わっていくのだと思います。

でんでん虫の活動の成果を発表する場として、『ポプラ音楽会』があります。1年に1回ですが、一人ひとりの生き生きした姿や成長の様子が見られるとても楽しい発表会です。ボルケーノ等の演奏を通して、大人になった時の充実した将来増を想像することが出来るという、メッセージを込めた場にもなっています。

(栗原) バギーに首も身体ももたれかかっていたお子さんが、太鼓の音に誘われて起き上がり、太鼓に手を伸ばしてくる姿に、音楽の力を実感します。リズムに反応し、身体をゆすり、やがて柔らかな笑顔になります。子どもさん、親御さん、私たちが、共感できた瞬間は、本当に嬉しくなります。

(林谷) グルーピングや学校・他機関との連携等、利用者さん一人ひとりのニーズに応じた支援が出来る。他の音楽療法の場ではなかなか出来ない、でんでん虫の良さだと思います。

(小田嶋) なごみの療育は、法人内の連携が強み。ドリーム、ヘルパーステーション、グループホーム等の協力が大きく、ケアが立体的にできていると思います。

(渡邊、栗原) 利用者の年齢幅が広く、年令の枠がないことも特徴。法人内に子育て支援センターがあることで1歳前から受け入れる事が出来ます。これはとても大切なことです。

(市村) 楽器と一緒に写真撮影をすることになると、すぐ即興の素敵な演奏が始まったのにとっても驚きました。スタッフの皆さんが、音楽を通して、人間本来の喜び、共感を引出し、療育活動に努力されていることを知ることができました。遅くまでご苦労様でした。

# 最近のニュース

## 福祉会後援会「花笑みの会」総会

— 5月28日（土）於・多摩川あゆ工房

第14回総会が開かれ、志岐チエ子会長など役員が再任、事業報告、26年度決算、27年度予算が決まりました。栗田理事長、市村護郎副理事長、飯島理事、井口評議員らが出席しました。

井口真美評議員（川崎市議）から「関係者の運動で、川崎市独自に上乘せされていた障害者補助単価が今年度5%削減されたこと、関係者、市民の取り戻す運動を期待したい。」との訴えがありました。



挨拶する志岐チエ子会長と役員

「後援会・花笑みの会」は、2000年（平成12年）11月に発足しました。

役員、会員のボランティア活動で、毎年、きょうさ連物品販売、あゆ祭り、夢花感謝祭などで「バザー」を開催、得た資金を、年平均100万円を法人に援助しています。H26年度は、夢花作業所の草刈り機購入費、せせらぎ沿線事業部・グループホーム「ぐっすり」改修費、H27年度は、あゆ工房20周年記念誌発行、夢花事業部鷺ヶ峰トイレ改修費に当てられています。

### ★会員募集

年会費・個人1口2000円、団体1口5000円

会費振込：川崎信用金庫長沢支店、口座番号0185019、名義人志岐チエコ、郵便局：振替番号00220-7-71044、加入者名・花笑みの会



## グループホーム「わさび」 登戸新町にオープン



写真：リビング

4月1日に、せせらぎ沿線事業部4番目のグループホームが開所しました。ホーム名「わさび」は、大家さんが「新寿司」を経営していたことで、利用者が主人公になり、脇役となるようにと名付けました。わさびは男性5名のホームです。世話人さんが毎日泊まって、利用者の支援を行い。夕方夕食作りのパートの人が来て、リクエストの応じて調理し、温かい夕食を提供しています。まだまだ始まったばかりで色々なことが起こると思いますが、笑顔で楽しいホームにして行きたいと思います。（担当：鈴木）

## 送迎用車両寄贈される。

このたび、県福祉事業協会、県遊技協同組合から、送迎用車両が、法人に寄贈されました。

感謝状と車両 ⇒



## 理事・評議員、役員（平成27年5月24日、理事会承認）

### 理事・監事・相談役

理事長・評議員	栗田	怜子	（再）	保育事業部長・園統括園長
副理事長・評議員	市村	護郎	（再）	元・川崎市議会議員
理事・評議員	池田	弘嗣	（再）	会社相談役
理事・評議員	長島	和代	（再）	元・小田原女子短期大学教授
理事・評議員	濃沼	三郎	（再）	元中野島地区民生委員協議会会長
理事・評議員	飯島	克巳	（再）	せせらぎ沿線事業部長・多摩川あゆ工房施設長
理事・評議員	梶山	則行	（再）	夢花事業部長・夢花工房施設長
理事・評議員	渡邊	紀子	（再）	地域療育事業部長・療育相談でんでん虫代表
理事・評議員	安藤	欣也	（新）	薬師堂獅子舞奉賛会役員、多摩交通安全協会副会長
監事	加藤	讓	（再）	世田谷税経センター取締役
監事	坂本	翔子	（再）	横浜国際福祉専門学校校長
相談役	宮崎	広幸	（再）	菅・梨園経営
相談役	小西	弘昭	（新）	前理事長

### 評議員

評議員	北川	千鶴子	〈再〉	社会福祉法人らぼおる理事長
評議員	志岐	チエ子	（再）	後援会「花笑みの会」会長
評議員	紅林	俊介	（再）	療育相談でんでん虫利用者家族代表
評議員	油井	由香里	（再）	元・なごみ保育園父母会会長
評議員	川壁	正子	（再）	あゆ工房家族代表
評議員	金森	孝雄	（新）	川崎生田ライオンズクラブ役員
評議員	末吉	一夫	（再）	長沢地区町内会長
評議員	井口	真美	（再）	川崎市議会議員
評議員	江木	幸代	（再）	宮前区鷺沼地区民生児童委員
評議員	小林	芳人	（再）	中野島地区民生・主任児童委員
評議員	大西	則子	（再）	世田谷太子堂地区・民生児童委員

### 新任役員紹介

◆**理事・安藤欣也** 菅北浦の老舗《中村ふとん店》の店主のかたわら、菅地区伝統芸能・薬師堂獅子舞奉賛会役員として活躍。なごみ保育園での伝統行事になっている「獅子舞」を熱心に指導して頂いています。

◆**評議員・金森孝雄** でんでん虫に引き継いで、夢花工房の仲間が、毎年バーベキュー招待をして頂いている「川崎生田ライオンズクラブ役員」です。最近まで、評議員をして頂いた、佐伯哲郎さんが健康上の理由で退任された後を引き受けていただきました。